

事務事業No.	17-	7
事業名	図書館経費	
会計	一般	
款	10	
項	5	
目		4
政策	6 人生を豊かにするために	課名 社会教育課
施策	6-1 生涯学習の推進	係名 生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 町民（図書館利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	図書館を中心として町民が様々な学習のできる場を提供する。
事業内容	様々な学習のできる場を提供するため、図書館を中心とした資料の収集、整理、保存を行うことを目的として、閲覧、貸出、予約、リクエスト、レファレンス、複写等のサービスを提供する。また、子ども読書活動を推進するため、ボランティア団体による読み聞かせなどの事業を実施。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	図書館入館者数	75,034	76,643	82,827	人	↑
2	図書貸出冊数	184,790	170,094	173,213	冊	→	182,000
3							
4							
5							
		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	令和6年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B				29,326	32,298	26,888	
財源内訳	直接事業費A			10,840	13,614	12,230	
	うち一般財源			10,788	13,552	12,160	
人件費（千円）B				18,486	18,684	14,658	
内訳	一般職員（人・千円）	1.71	11286	1.74	11,484	1.13	7,458
	臨時職員（人・千円）	4.00	7200	4.00	7,200	4.00	7,200

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	来館者数や貸出冊数の把握に加えて、問い合わせ表や貸し出し図書の傾向を調査し、求められる資料の把握を行い、利用者増加を図る。	③取組の課題	利用者ニーズの把握と利用者増加の取り組みの創出が課題。
②R5年度に実施した取り組み	特設コーナー設置をはじめ、読み聞かせ会、おはなし会、子ども向け人形劇を実施した。また、文化センター入口での図書館イベントや新書等案内板を設置した。	④今後の改善計画	来館者数や貸出冊数の把握に加えて、問い合わせ表や貸し出し図書の傾向を調査し、求められる資料の把握を行い、利用者の増加を図る。